

神奈川経済専門学校における情報提供資料

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

① 学校の概要

● 校長名 奥田 経男

所在地 〒252-0144 神奈川県相模原市緑区東橋本 2-33-5

連絡先等 042-773-5729

● 学校の沿革・歴史

昭和 51 年(1976 年) 4 月 1 日	学校法人設立
昭和 52 年(1977 年) 4 月 1 日	学校法人認可
昭和 52 年(1977 年) 4 月 1 日	神奈川経済専門学校設置認可
昭和 55 年(1980 年) 4 月 1 日	近畿大学通信教育部併修制度開始
昭和 63 年(1988 年) 4 月 1 日	秘書学科設置
平成 4 年(1992 年) 4 月 1 日	校舎増築施行
平成 5 年(1993 年) 7 月	教室・実習室冷暖房設備完工
平成 9 年(1997 年) 4 月 1 日	産能大学 通信教育部併修制度開始
平成 18 年(2006 年) 6 月	ホームページリニューアル
平成 20 年(2008 年) 4 月	奥田永勇奨学金(本校の独自制度)の創設
平成 22 年(2010 年) 3 月	校舎外壁塗装(ガイナ)施工
平成 22 年(2010 年)10 月	教室エアコン(省エネタイプ)整備
平成 23 年(2011 年) 4 月	全教室 LED 照明へ交換
平成 24 年(2012 年) 9 月	ホームページリニューアル
平成 25 年(2013 年)11 月	隣地購入 駐車場・駐輪場整備
平成 26 年(2014 年) 3 月	商業経済学科 職業実践専門課程認定
平成 26 年(2014 年) 8 月	駐車場内 ミニ日本庭園設置
平成 27 年(2015 年) 5 月	駐車場内に橋本アートギャラリー(LED 内照式展示坂)設置
平成 28 年(2016 年) 3 月	職業実践専門課程認定専門士卒業(初年度 32 名)
平成 28 年(2016 年) 4 月	秘書学科廃止
平成 28 年(2016 年) 9 月	ホームページリニューアル
平成 29 年(2017 年) 4 月	商業経済学科 キャリアクラス新設 PC 教室ノートパソコン(20 台)整備

● 学校の特徴

◇「公益社団法人 全国経理教育協会」会員校

本学は、「公益社団法人 全国経理教育協会」の会員校です。「全国経理教育協会」が主催する各種検定試験に対応した授業も展開されており、卒業までに各種資格を取得できるだけの実力を身に付けることができます。資格は、自分の能力を証明するためにとっても大切なもので、キャリア形成に必要不可欠です。

また、「全国経理教育協会」主催の各種検定試験会場校にも指定されており、本学にて、「簿記能力検定」、「計算実務能力検定」、「社会人常識マナー能力検定」、「電卓計算能力検定」の各種検定試験の受験が可能です。

◇専門士の称号

本学は、専門士の称号取得認定校であり、規定単位を取得し、卒業すると専門士(商業実務分野)の称号を取得することができます。

卒業証書に「職業実践専門課程」を修めたことが明記されるため、実践的な職業能力教育を受講したことが明らかになります。

◇職業実践専門課程認定

本学商業経済学科が、平成26年文部科学省告示第59号により「職業実践専門課程」の認定を受けました。今後もより一層、企業等との密接な連携を行い、実践的な職業教育の機会を提供いたします。

◇卒業後、大学への編入・進学が可能

修学年限2年以上かつ修了に必要な総授業時間数が1700時間以上である専修学校専門課程を修了した者には、大学編入学の受験資格が与えられます。本学の卒業生の多くは、大学への進学や大学3年次への編入を果たしています。

◇便利な立地

本学は、横浜線、相模線、京王線というJR・私鉄3線が乗り入れ、大変にアクセスの良い橋本駅に立地しています。駅から学校までは徒歩7分ですが、その途中に大規模なショッピングセンターや映画館、コンビニエンスストアなどがあり、大変便利です。また、駅南口に大型複合商業施設(アリオ橋本)が平成22年秋に開業しました。さらにリニア新幹線の間駅として橋本駅が計画決定(2027年開通予定)されました。

◇環境に配慮した教育環境

学校の外壁は、平成22年3月に特殊セラミック塗料(ガイナ)を使って塗装しており、断熱・遮熱・耐久など15の機能を持ち環境、省エネに貢献しています。また、教室はすべてLED照明を採用しており、エアコンも省エネタイプを配備しております。

事業所として相模原市から「相模原市エコオフィス認定証」(平成29年4月更新)、相模原市商工会議所から「相模原市商工会議所環境対策優良事業所認定証(平成23年11月)をいただきました。

② 目標及び計画

● 学校の教育目標、経営方針

◇教育理念

- 1 ひとりひとりを大切にする教育を実践する。
- 2 限りない未来と夢に向かって伸びる力を育てる。
- 3 グローバル化した新しい世界に適応し、新時代を担う人材を育成する。

◇アドミッションポリシー

- 1 自身の将来に目的意識をもち、何事にも努力を惜しまない方
- 2 専門知識と教養を身に着け、向上心をもって謙虚に学び続けることが出来る方
- 3 幅広い価値観を許容でき、真のグローバル人材を目指したい方

◇経営方針

- 1 小規模校の意思決定の速さと組織の柔軟性を生かしながら、専門学校が置かれた厳しい経営環境を乗り越えていく必要がある。
- 2 職員個々の能力及び技術を最大限に発揮できる職場環境づくりを目指す。
- 3 教育理念を常に念頭に入れて経営を行う。

● 教育指導計画

平成21年度から各教科のシラバスを作成して教育指導に活用しています。

作成したシラバスは、生徒・職員に配布するガイドブックに掲載して周知しています。

③ 各学科の教育

● 定員数、入学者数、在学生徒数

商業経済学科 定員 148 人 平成 29 年度入学者数 62 名
 在籍生徒数 1 年 62 名 2 年 51 名 合計 113 名
 (学校基本調査：平成 29 年 5 月 1 日現在)

● カリキュラム

1 年生 前期 第 2 教室 (2 階)

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9 時 00 分 ～ 10 時 30 分	電卓計算 ※奥田	総合対策Ⅰ ※山根・奥田	経済学 千葉	コミュニケーション論 津山	商業簿記Ⅰ ※大久保・柳川
10 時 30 分～10 時 40 分 休憩					
10 時 40 分 ～ 12 時 10 分	電卓計算 ※奥田	総合対策Ⅰ ※山根・奥田	経済学 千葉	比較文化 津山	商業簿記Ⅰ ※大久保・柳川
12 時 10 分～12 時 20 分 休憩					
12 時 20 分 ～ 13 時 05 分	電卓計算演習 ※奥田	総合対策Ⅰ演習 ※山根・奥田	経済学演習 千葉	ビジネス 牛	商業簿記Ⅰ演習 ※大久保・柳川

※は T T (チーム・ティーチング) 方式です。

1 年生 後期 第 2 教室 (2 階)

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9 時 00 分 ～ 10 時 30 分	計算実務Ⅰ ※奥田	総合対策Ⅰ ※山根・奥田	経済学 千葉	コミュニケーション論 津山	商業簿記Ⅰ ※大久保・柳川
10 時 30 分～10 時 40 分 休憩					
10 時 40 分 ～ 12 時 10 分	計算実務Ⅰ ※奥田	総合対策Ⅰ ※山根・奥田	経済学 千葉	比較文化 津山	商業簿記Ⅰ ※大久保・柳川
12 時 10 分～12 時 20 分 休憩					
12 時 20 分 ～ 13 時 05 分	計算実務Ⅰ演習 ※奥田	総合対策Ⅰ演習 ※山根・奥田	経済学演習 千葉	ビジネス 牛	商業簿記Ⅰ演習 ※大久保・柳川

※は T T (チーム・ティーチング) 方式です。

2 年生 前期 第 5 教室 (3 階) / 2 階 PC 教室 (IT 活用・文書処理)

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
9 時 00 分 ～ 10 時 30 分	商業簿記Ⅱ ※柳川・矢澤	経営学 千葉	総合対策Ⅱ (選択) ※山根・奥田	IT 活用 (選択) 牛	工業簿記・ 原価計算 ※大久保・柳川	簿記論 千葉
10 時 30 分～10 時 40 分 休憩						
10 時 40 分 ～ 12 時 10 分	商業簿記Ⅱ ※柳川・矢澤	経営学 千葉	総合対策Ⅱ ※山根・奥田	IT 活用 牛	工業簿記・ 原価計算 ※大久保・柳川	計算実務Ⅱ ※奥田
12 時 10 分～12 時 20 分 休憩						
12 時 20 分 ～ 13 時 05 分	商業簿記Ⅱ 演習 ※柳川・矢澤	経営学演習 千葉	総合対策Ⅱ 演習 ※山根・奥田	文書処理 牛	工業簿記・ 原価計算演習 ※大久保・柳川	計算実務Ⅱ ※奥田

・(通年)水曜日の総合対策Ⅱ・同演習と IT 活用・文書処理は、希望者選抜クラス編成の予定です。

※は T T (チーム・ティーチング) 方式です。

2年生 後期 第5教室(3階) / 2階PC教室(IT活用・文書処理)

時間	月曜日	火曜日	水曜日		木曜日	金曜日
9時00分 ～	商業簿記Ⅱ	経営学	総合対策Ⅱ (選択)	IT活用 (選択)	工業簿記・ 原価計算	財務諸表論
10時30分	※柳川・矢澤	千葉	※山根・奥田	牛	※大久保・柳川	千葉
10時30分～10時40分 休憩						
10時40分 ～	商業簿記Ⅱ	経営学	総合対策Ⅱ	IT活用	工業簿記・ 原価計算	計算実務Ⅱ
12時10分	※柳川・矢澤	千葉	※山根・奥田	牛	※大久保・柳川	※奥田
12時10分～12時20分 休憩						
12時20分 ～	商業簿記Ⅱ 演習	経営学演習	総合対策Ⅱ 演習	文書処理	工業簿記・ 原価計算演習	計算実務Ⅱ
13時05分	※柳川・矢澤	千葉	※山根・奥田	牛	※大久保・柳川	※奥田

・(通年)水曜日の総合対策Ⅱ・同演習とIT活用・文書処理は、希望者選抜クラス編成の予定です。

※はT T(チーム・ティーチング)方式です。

1年生 前期 キャリアクラス 第1教室(1階)

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9時00分 ～	IT活用Ⅰ	商業簿記Ⅰ	基礎英語	経済学	電卓計算
10時30分	牛	矢澤	饒平名	饒平名	奥田
10時30分～10時40分 休憩					
10時40分 ～	IT活用Ⅰ	商業簿記Ⅰ	基礎英語	経済学	簿記論
12時10分	牛	矢澤	饒平名	饒平名	矢澤
12時10分～12時20分 休憩					
12時20分 ～	社会人常識マナーⅠ	商業簿記Ⅰ 演習	実務英語Ⅰ	経済学演習	簿記論
13時05分	牛	矢澤	饒平名	饒平名	矢澤

1年生 後期 キャリアクラス 第1教室(1階)

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9時00分 ～	IT活用Ⅰ	商業簿記Ⅰ	中級英語	経済学	FP概論
10時30分	牛	矢澤	饒平名	饒平名	矢澤
10時30分～10時40分 休憩					
10時40分 ～	IT活用Ⅰ	商業簿記Ⅰ	中級英語	経済学	財務諸表論
12時10分	牛	矢澤	饒平名	饒平名	矢澤
12時10分～12時20分 休憩					
12時20分 ～	社会人常識マナーⅠ	商業簿記Ⅰ 演習	実務英語Ⅰ	経済学演習	財務諸表論
13時05分	牛	矢澤	饒平名	饒平名	矢澤

● 進級・卒業の要件等(成績評価基準、卒業・修了の認定基準等)

進級：50単位履修並びに修得

卒業：100単位履修並びに修得

● 学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

簿記、電卓計算、計算実務、社会人常識マナー能力検定(公益社団法人全国経理教育協会主催)

日商簿記検定、TOEIC、ITパスポート試験、Microsoft オフィスペシャリスト、

フィナンシャル・プランニング技能士検定

● 資格取得、検定試験合格等の実績

◇平成 28 年度実績

簿記能力検定合格者	2 級	2 名 (5)	3 級	37 名 (27)	4 級	45 名 (44)
電卓計算能力検定合格者	1 級	6 名 (1)	2 級	28 名 (13)	3 級	45 名 (38)
計算実務能力検定合格者	1 級	2 名 (2)	2 級	34 名 (24)	3 級	30 名 (32)
社会人常識マナー能力検定合格者	2 級	1 名 (1)	3 級	5 名 (12)		

() は前年度実績

● 卒業者数、卒業後の進路 (進学者数・主な進学先、就職者数・主な就職先)

平成 28 年度卒業生 42 名 (2017 年 3 月卒業)

大 学 6 名 (帝京大学 2 名編入、秀明大学、日本経済大学、至誠館大学)

短 大 1 名 (東京経営短期大学)

就 職 25 名 (株式会社 LEOC、株式会社エムアンドアール、株式会社ソシアリンク、株式会社ハシモトコーポレーション、株式会社武蔵野、有限会社長岡電気制御、その他中堅・中小企業中心に実績あり)

その他 10 名

④ 教職員

● 教職員数 (職名別) 及び担当科目

校 長	奥田 経男	
専任講師	牛 冰心	ビジネスマナー、IT 活用、文書処理、IT 活用 I、社会人常識マナー I
専任講師	奥田 真理子	電卓計算、電卓計算演習、計算実務 I、計算実務 I 演習、計算実務 II、総合対策 I、総合対策 I 演習、総合対策 II、総合対策 II 演習
専任講師	矢澤 加恵	簿記論、財務諸表論、商業簿記 I、商業簿記 I 演習、商業簿記 II、商業簿記 II 演習、FP 概論
非常勤講師	河野 惇	
非常勤講師	大久保 光美	商業簿記 I、商業簿記 I 演習、工業簿記・原価計算、工業簿記・原価計算演習
非常勤講師	津山 隆雄	コミュニケーション論、比較文化
非常勤講師	千葉 洋	経済学、経済学演習、経営学、経済学演習、簿記論、財務諸表論
非常勤講師	柳川 美樹	商業簿記 I、商業簿記 I 演習、工業簿記・原価計算、工業簿記・原価計算演習、電卓計算、電卓計算演習、計算実務 I、計算実務 I 演習
非常勤講師	山根 みよ子	総合対策 I、総合対策 I 演習、総合対策 II、総合対策 II 演習
非常勤講師	饒平名 丈	経済学、経済学演習、基礎英語、中級英語、実務英語 I

● 教職員の組織・活動

職員会議にて重要な意思決定を行う。

小規模校のため日常のやり取りの中で十分なコミュニケーションを図り、日々の教育活動・業務を円滑に行う。

教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会との有機的な連携を図りながら、教育の質の保

証・向上に向けて組織的に取り組む。

● 教職員の研修・研究活動

教員研修等実施規程に定める研修基本方針に基づき教員のキャリア段階に応じて継続的かつ計画的な資質・能力の向上に取り組む。

⑤ 生徒指導・生活指導

● 生徒・生活指導の方針・基準

教育理念に基づいた指導を全教職員が実践する。

- 1 ひとりひとりを大切にする教育を実践する。
- 2 限りない未来と夢に向かって伸びる力を育てる。
- 3 グローバル化した新しい世界に適応し、新時代を担う人材を育成する。

● 生徒・生活指導への取組状況

毎朝、玄関ホールにて登校する生徒を常勤教職員が挨拶して迎え入れをしている。

登校しない生徒の携帯に連絡をして、安否・健康状態などの確認をする。

欠席が続く生徒については、自宅訪問を行い適切な個別指導を行っている。

特に問題のある生徒に対しては、個別に学校長から面談・指導を行っている。

各担当教員から個別に教科指導を行い、同時にキャリアアドバイザー2名による学習進路・生活指導を実施している。

⑥ キャリア教育・実践的職業教育

● キャリア教育への取組状況

平成21年10月から神奈川県専修学校各種学校協会からの派遣職員1名を受け入れ、キャリア支援を実施してきましたが、平成24年度より常勤職員のキャリアアドバイザーを採用して、生徒に対する指導・助言に取り組んでいます。

さらに、平成28年度から、常勤職員のキャリアアドバイザー2名体制としてキャリア教育の充実を図っています。

● 就職支援等への取組状況

就職を希望する生徒の意向把握から始まり、個々に応じた支援を実施。

履歴書・エントリーシートの作成指導

就職サイトへのエントリー、就職説明会の情報提供から参加支援

⑦ 様々な教育活動

● 学校行事への取組状況

◇通年行事

5月中旬に市内ボーリング場で1・2年生合同交流会を実施

6月に防災訓練（避難、救急救命法、通報訓練）を相模原北消防署の指導のもと実施

12月にホール施設を借りてクリスマスイベントを開催し、学習成果の発表、歌、ダンスの披露等を行っています。

◇特別行事

平成25年1月23日 学校主催で「かなせん新春オペラコンサート」を杜のホールはしもとで開催した。本格的なオペラ公演と在校生徒による歌と踊りの発表を行いました。

平成27年3月12日 相模原市青年工業研究会（青工研）の企業経営者の方々と在籍生徒とで交流会を行い、日本で就職するためのアドバイスなどをいただきました。

平成29年5月23日 西武信用金庫との「包括的連携・協力に関する協定書」に基づき校内で企業合同説明会を実施予定です。

● 部活動、放課後活動、生徒会活動等の状況

現在在校生が、アジアからの私費留学生が大多数であるために上記活動は実施していません。

平成29年度から日本人向けキャリアクラスが開設されたことから放課後活動についても生徒の要望を踏まえ検討していく予定です。

● 家庭・地域・企業等との連携による取組、他の学校との連携による取組等の状況

職業実践専門課程の目的に応じた分野の実務に関する知識や技術をより専門的に修得するため企業その他関連機関との連携を進めています。

⑧ 入学者選抜、生徒納付金・就学支援

● 入学者選抜の方針・方法（入学者の受入方針、選抜の方法等）

日本人向けのものや留学生向けの募集要項を用意し、特に留学生向けには、わかりやすいように振り仮名を振るなどして、正しく学校の内容を理解してもらうように配慮しています。

平成20年度から選考を厳しく行い、質の高い入学生徒の獲得に力を入れています。

選抜の方法は、出願書類審査・筆記試験及び面接試験により合格者を判定しています。

● 生徒納付金の取扱い（金額、納入時期等）

1年次学費 総額60万円（入学金5万円、授業料43万円、施設整備費12万円）

合格後概ね1ヶ月以内の学校指定日までに納入

2年次学費 総額55万円（授業料43万円、施設整備費12万円）

進級前の3月までに納入

● 活用できる就学支援措置の内容等

本学には、出席、成績及び授業態度が他の生徒の模範になる学生に対して奨学金の制度があります。校内で約20%の学生が受給できるように配慮しています。

◇奥田永勇奨学金（本学独自制度 平成20年4月創設 四半期ごとに受給者を決定）

給付金額	月額	30,000円	5名
------	----	---------	----

	月額	20,000円	5名
--	----	---------	----

	月額	10,000円	8名
--	----	---------	----

⑨ 学校の財務

平成28年度財務計算書類を以下のとおり作成し、ホームページに掲載すると共に受付窓口にて供覧しております。

資金収支計算書・人件費支出内訳表・消費収支計算書・貸借対照表・固定資産明細表・
借入金明細表・基本金明細表・財産目録

⑩ 学校評価

● 自己評価・学校関係者評価の結果

【自己評価】

◇学校教育法施行規則第66条（自己評価の結果の公表義務）

毎年3月1日を基準日として「自己点検・自己評価」を実施しています。

◇同規則第67条（学校関係者評価の評価結果の公表努力義務）に基づく公表

ホームページに掲載すると共に受付窓口で、3月1日以降「自己点検・自己評価報告書」を閲覧できるように備え付けています。

【学校関係者評価】

平成29年1月18日付けで「平成27年度神奈川経済専門学校関係者評価報告書」を作成し、ホームページに掲載すると共に受付窓口にて閲覧できるように備え付けています。

● 評価結果を踏まえた改善方策

「平成27年度神奈川経済専門学校関係者評価報告書」にて学校の自己評価に対していただいた学校関係者評価は、厳粛に受け止め今後の改善に万全を尽くしたいと考えています。